

「第3次東金市総合交通計画」策定業務の延期について

「第3次東金市総合交通計画」の策定業務については、新型コロナウイルス感染拡大を受け、1年延期することとしたい。

1. 背景

○ 新型コロナウイルス感染症の状況

令和2年2月27日	首相より全国の小中高校に臨時休校を要請
3月2日	市立幼稚園・小学校・中学校休校
4月7日	政府より7都府県に「緊急事態宣言」発出
5月25日	「緊急事態宣言」解除
6月1日	市立幼稚園・小学校・中学校再開
7月3日	国内感染者 2か月ぶりに200人を超える
7月9日	国内感染者 5月2日ぶりに300人を超える
7月10日	国内感染者 4月24日以来400人を超える

○ 公共交通の状況（利用者減）

- ・市内循環バス福岡路線/豊成路線、乗合タクシー 平常運行
- ・路線バス、高速バス 一部減便/運休
- ・鉄道 平常運行

2. 理由

① 公共交通利用者の減少による「利用実態調査」の精度の低下

	市内循環バス		乗合タクシー
	福岡路線	豊成路線	
令和元年度(4月・5月)	1,596人	1,042人	2,101人
令和2年度(4月・5月)	1,006人	564人	1,356人
比較	-590人	-478人	-745人
減少率	36.96%	45.87%	35.46%

公共交通の利用者が平時の約4割減となっており、利用者アンケートの回収枚数が予定よりも減少する可能性があり、データの精度が低下する懸念がある。

② 運行ダイヤの変則化

7月現在、路線バスや高速バスの一部において減便、運休の路線があり、「利用実態調査」は非常に難しい状況となっている。

③ 新型コロナウイルス感染拡大第2波の懸念

千葉県における新型コロナウイルス感染者数は低い水準で推移しているが、東京都では増加傾向にある。今後、県内においても再び感染が拡大する可能性も否定できず、第2波が起こった場合、「利用実態調査」や本会議の開催にも多大な影響を与えることが懸念される。

本年度に「利用実態調査」を実施した場合、上記の理由により、信頼に足るデータを収集できないことが予想される。また、新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向に転じた場合、事業を中断せざるを得ない状況が考えられる。よって本年度の事業実施は困難である。

2 延期後のスケジュール

当初

- ・令和2年度 実態調査実施予定
- ・令和3年度 計画策定予定

延期後

- ・令和2年度 国・県に対する補助金申請及び令和3年度当初予算要求予定
- ・令和3年度 国・県補助金交付及び当初予算決定後、「利用実態調査」実施予定
 - * 計画の空白期間となる令和3年度については、「第2次東金市総合交通計画」の事後評価期間と計画記載事業の評価を実態調査と並行して実施する。
- ・令和4年度 計画策定予定